

生命の尊重と個人の尊厳を旨とし、和をもって市民に信頼される保険・医療・福祉サービスを提供します。



2025年10月18日(土)に開催されたビッグハート感謝祭にて

● **健康ブース**  
ここでは健康相談・栄養相談をはじめ、骨密度測定、肺年齢測定、体組成測定を、医師や看護師のもと、無料提供しました。健康の心配や日常受けることのできない検査など、安心して立ち寄れるコーナー



ビッグハート感謝祭にて健康相談の様子

「ビッグハート感謝祭」は、当院の利用者さんだけでなく、地域のだれもが参加できる楽しいイベントです。5年ぶりの開催に、スタッフもわくわくしながら準備をすすめてきました。雨天決行の予定でしたが、幸いにも気持ちのいい秋晴れに、当院の正面玄関前・1階フロアを会場に、さまざまなイベントや出店でにぎわい、90人近い方々の参加がありました。

● **健康ブース**

ここでは健康相談・栄養相談をはじめ、骨密度測定、肺年齢測定、体組成測定を、医師や看護師のもと、無料提供しました。健康の心配や日常受けることのできない検査など、安心して立ち寄れるコーナー

● **ゲームコーナー**

わなげやモグラゲームなど5種類のゲームが無料。すべてのゲームを体験するとプレゼントがもらえるというお楽しみ付き。子どもから高齢の方まで、たくさんの方に楽しんでいただきました。

特集1

5年ぶりに「ビッグハート感謝祭」が開催されました。

2025年10月18日(土)に「ビッグハート感謝祭」が開けられました。地域に開かれた医療機関として毎年行われていましたが、コロナ禍では開催ができず、なんと5年ぶりの感謝祭となりました。

になりました。

【MESSAGE】



郡山市医療介護病院  
院長  
神林 裕行

新年あけましておめでとうございます。

この紙面をお借りしまして新年のご挨拶を申し上げます。昨今の地球温暖化にて、日本特有の情緒を演出する四季の移ろいが薄らいでしまい、我々人間だけでなく動物や植物も、その激甚型の気候変動に翻弄され、困惑している様に思われます。この地球規模の温暖化による弊害は、この先ますます予想もしない形で引き起こされてくるかも知れません。昨年後半からの熊の被害問題も、根は同じものに起因しているものと思っております。新年は、どんな予想もしない事象・災害が起きてくるのか心配をしているところでございます。

話は変わりますが、今年の春には、診療報酬の定期改定および介護報酬の前倒し改定があると聞いております。国の医療介護福祉予算の圧縮圧力の中、具体的にどのような改定内容になるのか現時点では分かりません。しかし、容易に想像できるのは、いろんな課題・要望に対応するために、今以上に報酬内容が複雑化するのではという事であります。それらに的確に対応するために、加算取得条件への対応力、診療報酬への情報収集体制の整備に私としては関心を持っており、注力していきたいと思っております。職員の皆様には、現状に留まらず医療介護のニーズの変化に迅速に対応できるように、進化とイノベーションを常に念頭において、試行錯誤を繰り返しながらも各自の理想に向かって進んで頂きたいと思っております。私自身、まだまだ院長の職責を全うしきれてはおりませんが、就任時に申し上げた情報共有とコミュニケーションを大事にして頑張っていきたいと思っております。今年も、皆様のご協力の程をどうぞよろしくお願い申し上げます。

【INFORMATION】

お知らせ

午後の内科予約診療、各種健康診断が始まりました

郡山市医療介護病院では、10月より、午後の内科予約診療、各種健康診断を開始しました。地域のみなさんにとって、より身近で通いやすい医療機関を目指してまいります。午後の診療はお電話での予約制となっています。ぜひご利用ください。

【午後の診療予約】 024-934-1240 随時受付

午後/内科診療	月	火	水	木	金
14:00-16:00	太田	鉄地川原	神林 ※第3週のみ 鉄地川原	原	鉄地川原

ご案内

こおりやまユマニチュード オレンジカフェ atビッグハート

オレンジカフェとは、物忘れや認知症状が気になる「ご本人・ご家族・関係者のみなさん」と、日ごろの悩みや工夫されていることなどを気軽に話せる集いの場です。当日はミニ講座も予定しています。

- 開催日 1月28日(水)/2月25日(水)/3月25日(水)
- 会場 ビッグハート(郡山市医療介護病院 1階玄関ホール)
- 時間 14:30~15:30 ●参加費 200円(おみやげ付)
- 【事前申し込み】連絡先 024-935-0527(郡山市医療介護病院 地域連携室)

認知症サポーター養成講座

郡山市では、認知症に関する正しい知識を持ち、認知症の人や家族を支援する「認知症サポーター」を養成しています。当院が会場となっている講座の日時をご案内します。

- 開催日 1月22日(木)/3月19日(木)
- 対象 郡山市民の方または市内に勤務されている方
- 内容 認知症について、認知症の方との接し方など
- 会場 ビッグハート(郡山市医療介護病院)
- 時間 14:00~15:30 ●参加費 無料 ●定員 50名
- 【事前申し込み】連絡先 024-924-3561(郡山市地域包括ケア推進課)

家族介護教室

当院では、認知症の方を介護するご家族のための教室を定期的で開催しています。お気軽にご参加ください。

- 開催日 2月19日(木)
- 会場 ビッグハート(郡山市医療介護病院)
- 時間 14:00~15:30
- 参加費 無料
- 【事前申し込み】連絡先 024-934-1240(郡山市医療介護病院 総務課)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は5年ぶりに感謝祭を実行したり、ボランティアの方によるオカリナ演奏があったりと、自分にとっても初めての事がたくさんありました。今年は自分の中でも忙しい1年になりそうな予感がしています。健康に気をつけて、毎日過ごせていけたらいいなと思っています。

【 広報誌担当 】



● 飲食コーナー(有料)

- ・郡山東高等学校「レモネードスタンド」: 売り上げは小児がん支援に全額寄付されるそうです。
- ・ルワンダコーヒー: オレンジカフェでもおなじみ。この日はカラフルなエプロンなども販売していました。



健康相談コーナー

・キッチンカー: 様々なメニューに、昼食などを買い求める人が並んでいます。

● 尚志高等学校  
よさこい舞踏部

職員のお子さんが所属している縁で出演。元気のいい挨拶と踊りは、見る人の気持ちを明るくさせました。



郡山東高等学校「レモネードスタンド」



尚志高等学校よさこい舞踏部



ゲームコーナー



キッチンカー



ルワンダコーヒー



特集2

# ユマニチュード宣言

神林 裕行 院長に聞く

本院がユマニチュードの取り組みをはじめ約11年。2024年5月には、東北初の「ユマニチュード認証プログラム」を取得しました。ユマニチュードの実践や、今後の課題・展望などについて伺いました。

わたしは2025年4月から院長に就任し、ここではじめてユマニチュードの実践にふれることになりました。

ユマニチュードとは、「人間としての尊厳」を大切にされたケアの技術ですね。その基本となるのが「見る」「話す」「触れる」「立つ」という4つの柱です。これは、よく考えてみると、診療・看護・介護などすべての現場で必要となる基本的なことだと思えます。

これら一つひとつを丁寧に、患者

さんや利用者さんの立場にたって行なうということですが、実はこれは意識していないと意外に難しい。それを理念化し、「優しさを伝える技術」として形にしたのがユマニチュードだと思っています。

本院では全職員を対象に、研修や講習などを定期的に行なっていますが、専門性の高い多職種のスタッフがいいますので、すべての現場で一律に適応できるかというのは課題ですね。

介護を受ける人は症状や感情など、それぞれ違ってきますから、一人ひとりを見ながら、「技術」を使っていく。実践とフィードバックを繰り返しながら、経験を積んでいく。こういったことも大切ではないかと考えています。

ユマニチュードについて、院内では組織的な取り組みが行なわれていますが、一般にはまだまだこの理念が広がっていません。広報に力を入れていくことも重要だと感じています。介護教室や公開講座など、だれもが参加できる機会を提供していきますので、ぜひ関心を持っていただけたらと思います。

## WITH KORIYAMA MEDICAL CARE HOSPITAL

ボランティア演奏会  
オカリナサークル  
ヴァイナス

11月26日(水)、オカリナの演奏会が行なわれました。コロナの影響ですとボランティアが入れず、みなさん寂しい思いをしているのではと、久しぶりの演奏会が実現しました。

院内4か所を巡り、演奏を披露。取材のために見学した介護医療院では、11人ほどの利用者さんがオカリナの音色に聞き入っていました。

「見上げてごらん夜の星を」「や・里の秋」など、なじみ



の曲がかかると手を叩いたり体を揺らしたり。最後の「ふるさと」では、歌詞を口ずさむ声も聞こえてきました。みなさん大満足で、アンコールの声もかかるほど。「みなさん引き込まれるように真剣に聞いてくださって、こちらが涙が出そうになりました」その当時に戻って、歌っていたのかも「しれませんね」とメンバーのみなさん。ともに素敵なひとときとなりました。

オカリナサークルヴァイナスでは、メンバーを募集中です。お問い合わせは、訪問看護ステーションの広田さんまで。



左から、紺頼さん、藤田さん、広田さん、菅野さん

## COLUMN | HUMANITUDE

### もっと身近に

#### やってみよう!

### ユマニチュード

#### 家庭で使えるケアの技術

INSTRUCT BY

日本ユマニチュード学会  
認定インストラクター

菅家 穰

#### 02 「話す」について

耳が聞こえにくい高齢者の方とお話をする時に、よく耳元で大きな声ではっきりと言葉を伝えるという方法を思い浮かべると思いますが、これは実はあまり良い方法ではありません。

#### 届け方その2

#### 穏やかに 低めのトーンで話す

穏やかに低めのトーンで抑揚をつけながら話しかけます。この方法で話しかけることにより、しっかりと聞き取れるだけでなく、自分が大切にされていると感じてもらうことができます。



耳元での大きな声は音割れを起こし逆に聞き取りにくいと言われています。そればかりか話かけられている本人は怒られているという様なネガティブなメッセージとして受け取ってしまう恐れがあります。そのようなにならないためには意識をしながら少し技術が必要になります。